

隣り合うマチエール

－ 庭園にみられる微差の並置に関する研究

東京藝術大学大学院
美術研究科博士後期課程 建築理論
山口誠

[要旨]

紫宸殿南庭の構成要素は極限的に限定されている。そこには地面一杯に敷き詰められた白砂と、「右近の橘」「左近の桜」として知られる2本の樹木しかない。白砂に浮かび上がる橘と桜は象徴的な存在として感じられ、そう思わせる意図があるように思える。しかも桜は、もともとは梅だったものがわざわざ植え替えられたという経緯もある。そのような強い象徴性を感じさせる一方で、橘と桜という組み合わせが何を象徴しているのかが不明である。また、ヨーロッパの様式庭園のように、はっきりとした構造をもつ表出イメージを持たない伝統的な日本庭園の印象は美しくも漠然としたものとなっており、その構成原理にも明快な意図を読み取ることができない。

本研究では、それら橘と桜の組み合わせが象徴するものを、奈良時代の『万葉集』と平安時代に成立した初の勅撰和歌集である『古今和歌集』に収められた歌に詠まれている梅・桜・橘など景物の含意から考察する。さらに紫宸殿南庭以外の平安時代の事象においても同様の手法を用いた比較検討を行い、その象徴をつくりだしているものが平安時代に形作られた日本文化の規範であり、さらに日本庭園の構造となっていることを明らかにする。そして、その規範を適用した外構計画である博士作品について解題を行う。

本論は第一部に平安時代の事象に対する考察、第二部の日本庭園の事例検証、第三部の作品解題による三部構成とする。

第一部では、まず『万葉集』の含意を通してしてみると、南庭での最初の組み合わせとなる橘と梅は、いずれも特別な木という共通部分をもちつつ、日本と中国、神代と当代という差のペアであることを明らかにした。その後の『古今和歌集』ではいずれも「香りが思い出を呼び起こすもの」へと変化し、同じ含意となったことで差がなくなってしまった。そして梅が桜に植え替えられたのである。橘と桜の組み合わせになってからは、いずれも日本由来の花という共通部分をもちつつ、橘は「香る」、桜は「散る」ものとして、そこにある微差が並置されることで、日本文化の規範を象徴していると結論を得た。その規範を「微差の並置」と呼ぶことにした。

第一部でさらに続く各章では『古今和歌集』にある梅の歌群と桜の歌群のなかで、それら2つの花を主題とする歌が他の花よりも圧倒的に多く詠まれており、「香る」と「散る」が並置されていること、漢字で書かれた真名序と、仮名による仮名序という二つの序が序を共通部分とした「微差の並置」としてあることを確認した。そして清涼殿東庭でも「かは竹」は日本由来、「くれ竹」は中国由来として「微差の並置」となっていた。紫宸殿南庭と同様に、そこでは日本と中国はアナロジーとして共通部分をもちつつ差があることが象徴されている。いずれの事例でも、共通部分と差は同質のなかにあり、そこに見られる差は対照的・対比的にはなっておらず、縁語的・順接的なつながりをもっている。「微差の並置」とは対等関係にあるものが共通部分を持ち、その同質性のなかに見られる差を微差とし、それが並置される状態を指すと定義した。

第二部では、「微差の並置」を日本庭園において見出す事例検証を行った。国指定特別名勝、国指定名勝を中心として抽出した74庭園を対象とし、「微差の並置」が見られる事例を探した。そのなかで「微差の並置」によって景が作られているものとして12箇所を見出すことができた。日本庭園の「微差の並置」では、共通部分が縁語のようにシフトしていくことで広がりをもっている。そこにある微差が集積されることによって日本庭園が作られているとの結論を得た。第二部での考察を通じて、平安時代につくられた「微差の並置」は日本庭園のあいまいな表出イメージをつくる構造であることと、さらには現代建築をも借景とする可能性があるものとして捉えることができた。

第三部では、博士作品の解題を行った。浅草橋に計画された現代建築「MONOSPINAL」の外構と、瀬戸内海の離島にある日本家屋「本島別邸」を囲む3つの日本庭園からなる博士作品「隣り合うマチエール」は、第二部で得られた日本庭園での「微差の並置」についての考察を踏まえて、「微差の並置」を外構や庭園をつくる上での手法として用いてつくられた外構計画である。いずれの計画においても「微差の並置」の集積によって全体と細部がつくられている。それを手法として用いることで、伝統的な漠然とした日本庭園のイメージのみならず、それとは異なる固有の表現をつくりだすことができている。

結論として、平安時代に生み出された「微差の並置」が、現代においてもそれを規範として計画を行うことができる有用な価値観であり、「微差の並置」が特有の表現を生み出す可能性をもつ手法でありえることを示している。